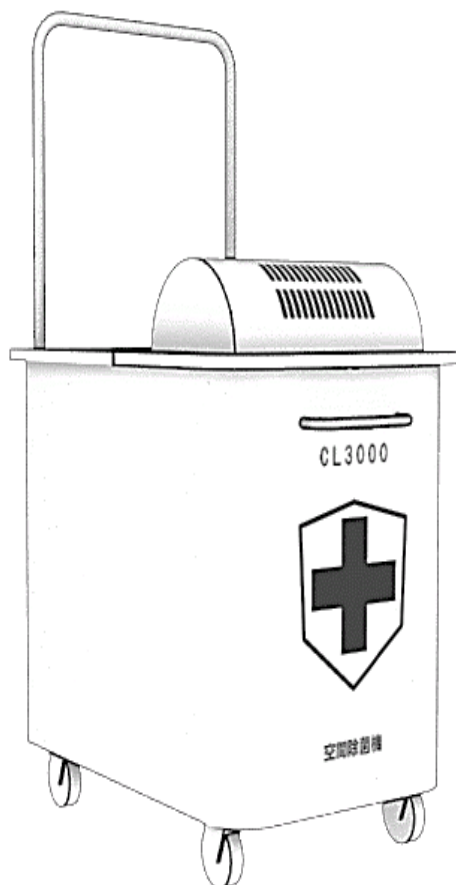
取扱説明書

CL-3000　滴下気化式　消臭除菌機

もくじ

このたびは滴下気化式　除菌消臭機をご使用いただき、まことにありがとうございます。

二酸化塩素固形剤と二酸化塩素水溶液のパワーで空間を除菌＋消臭します。

この製品は、空間の除菌・消臭を目的としております。

それ以外の用途でのご使用はお止め下さい。

・ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
・お読みになったあとは、大切に保存してください。

● 特徴・操作ボタン表示・部品名称・付属品・交換品

特　　　徴

【1】二酸化塩素固形剤と二酸化塩素水溶液を併用しています。
【2】加湿エアーが、部屋の湿度を55～65%に保ち、ウイルスが好まない環境をつくります。
【3】適用床面積の目安15畳（50㎥）～。
【4】おこのみに合わせて「4つの運転モード」。

操作ボタン（操作パネル）

部品名称

◆ 吸気関連 ◆

取っ手
ヒューズ
コンセント
送風ファン
給水キャップ
給水口
給水レベルゲージ

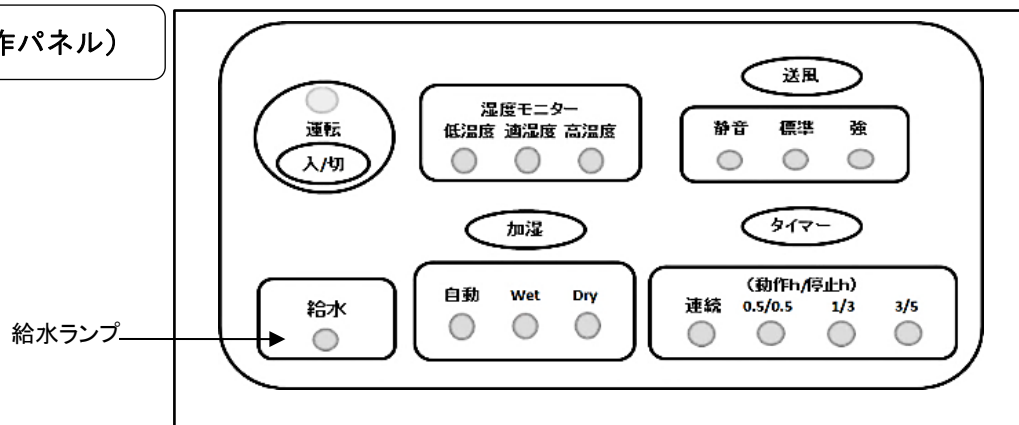
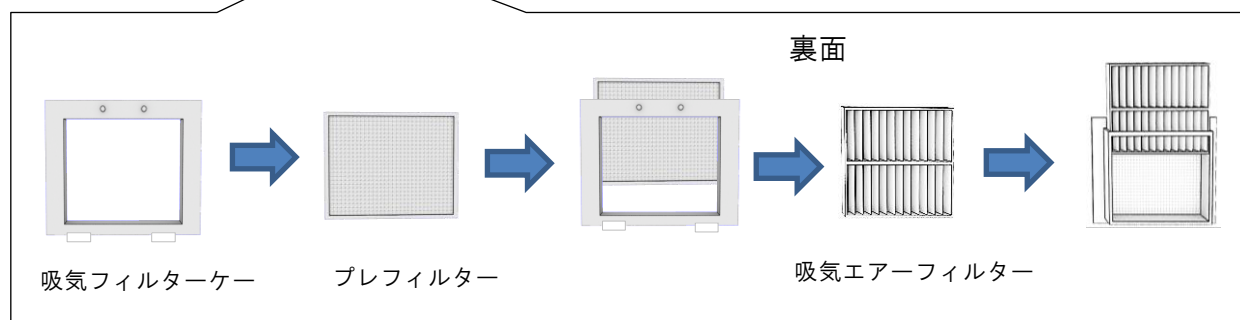
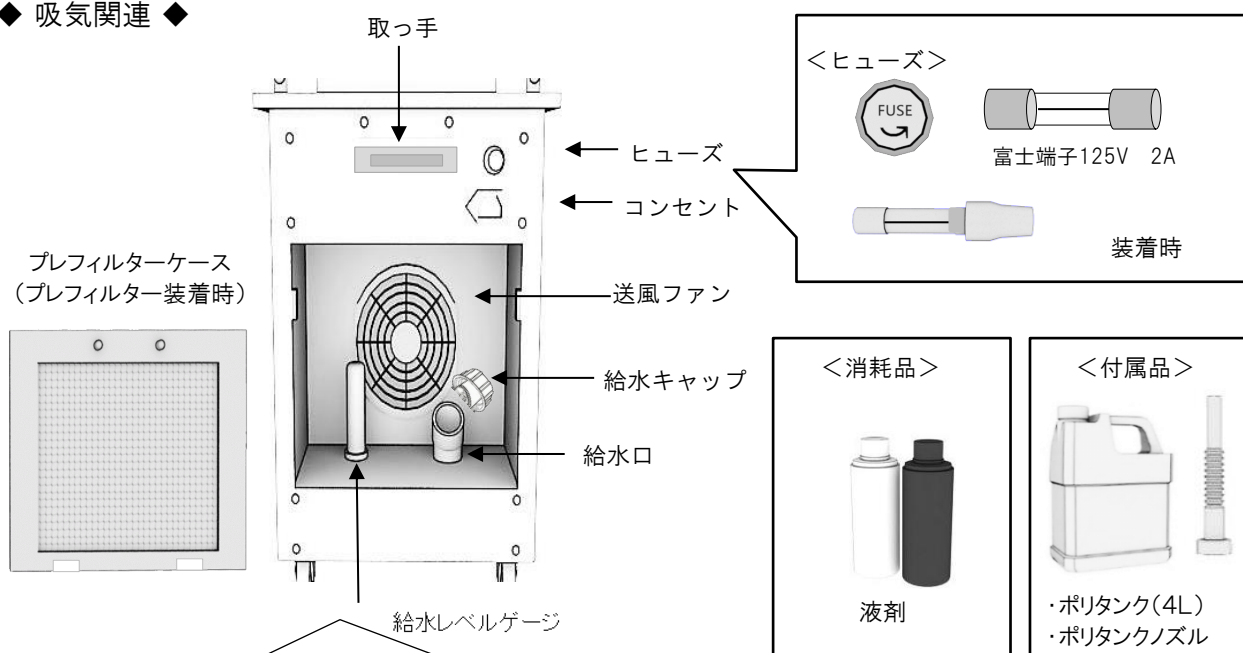
プレフィルターケース
（プレフィルター装着時）

＜ヒューズ＞
FUSE
富士端子125V　2A
装着時

＜消耗品＞
液剤

＜付属品＞
・ポリタンク(4L)
・ポリタンクノズル

裏面

吸気フィルターケー　プレフィルター　吸気エアーフィルター

部品名称

◆ 加湿関連 ◆

加湿フィルターケース
（加湿フィルター装着時）

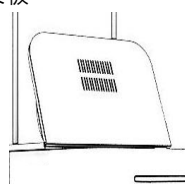
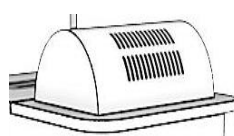
固形剤用ソケット

加湿フィルターケース
（加湿フィルター装着

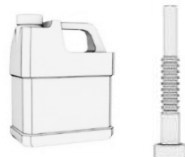
加湿フィル

加湿フィルターケー

＜消耗品＞

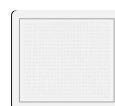
固形剤 （150ｇ）

付属品

● 取っ手 ＋ ドライバー

● ポリタンク（４Ｌ）・ノズル

● 電源コード （電源プラ

● 取扱説明書

交換部品

● プレフィル

● 吸気エアーフィル

●加湿フィルター

● 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、
お守りいただくことを次のように説明しています。
また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

	「警告や注意を促す」内容のものです。
うえにのらない	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく内容です。

警告

火災・感電・けがを防ぐために

電源（コンセント・プラグ・コード）

- **お手入れや移動の際は電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない**
感電やけがの原因になります
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の
電源プラグを持って引き抜く**
感電やショートして発火することがあります
- **長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセント
から抜きタンクの水を排出する**
感電・火災や異臭の原因になります
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります
- **電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る**
火災の原因になります
- **異常時（水漏れ、こげくさいにおいなど）は、運転を停止
して電源プラグをコンセントから抜く**
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります

- **交流100V以外では使用しない**
火災・感電の原因になります
- **電源コードを傷つけない**
火災・感電の原因になります
- **傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります

⚠警告

水タンク

- 水タンクは空の状態でのご使用はお止めください
  けがや故障の原因になります
- 水抜きドレンのキャップは必ず本体につけた状態で保管してください

本体・パネル

- ベンジン・シンナーでふいたり、殺虫剤など可燃性ガスをかけない
  ひび割れ、感電、引火、爆発の原因になります
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などは吸わせない
  火災の原因になります
- 持ち運びのときは、必ず取っ手を持つ
  破損など思わぬけがの原因になります

ご使用の場所は

- 暖房器具など熱いものに近づけない
  故障や変形の原因になります
- 台所で換気扇のかわりに使わない
  故障の原因になります
- 有機溶剤や薬品を使用する場所で使わない
  変色、変形や火災の原因になります
- 可燃性の粉じんやグラインダ・溶接機など火災状の粉じんが発生する工作機械の設置された場所では使わない
  火災の原因になります

その他

- 動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなど異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に連絡する
  感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります
- 絶対に分解したり修理・改造しない
  火災・感電・けがの原因になります。（修理お問い合わせは販売店まで）
- 吹き出し口・吸気口などに指や異物などを差し込まない
  けがや故障の原因になります

- 水につけたり、水をかけたり、本体内に直接給水しない
  ショート・感電の恐れがあります
- 本体を傾けたり、倒したり、本体に寄りかかったり、上に乗ったりしない
  転倒してけがをすることがあります。また水漏れの原因になります
- 幼児の近くや不安定な場所で使用しないでください
  転倒などでけがをすることがあります

注意

その他

- **持ち運ぶときは本体の取っ手に確実に手をかける**
  落下してけがをすることがあります
- **タンクに水をいれるときは、ゆっくり確実にいれてください**
  水漏れや指を挟むなどけがをする恐れがあります
  また、液剤は二酸化塩素ですので付着すると衣服などの色落ちの
  原因になります
  <u>※万が一、液剤が付着した場合は直ちに水で洗いながしてください</u>
- **タンクから水を抜くときは、ゆっくり確認しながら栓をまわす**
  まわりに水がこぼれる恐れがあります
  ドレンを回すとき、手には十分お気を付けください

- **フィルター類は定期的にお手入れする**
  掃除せずに使用し続けると、汚れや雑菌が繁殖し、悪臭がする場合があります。
  まれに体質によっては過敏に反応し健康によくないことがあります。
  この場合は医師に相談してください
- **必ず水道水（飲料水）を使う**
  部品の変形、変質、故障、カビや雑菌の繁殖による悪臭の原因になります
  お湯（おおよそ40° 以上）や浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラル
  ウォーター、井戸水などは使用しないでください
  また、有機溶剤、薬品、香水、芳香剤などは水タンクにいれないでください
- **フィルターはCL-3000用のものを使用する**
  当社純正品以外を使用した場合、故障の原因になります

- **水タンクの水は飲まない、飲ませない**
  健康を害する恐れがあります
- **凍結させない**
  水タンクなどが破損して感電や故障の原因になります
  凍結の恐れがある場合は、水タンクから水をぬいてください
- **給水中倒したり、落としたりしない**
  けがやタンクの変形、破損の原因になります。
  手でしっかり押さえながら給水してくだい

● 使用上のご注意

●運搬の際は本体はできる限り傾けないでください

水溶液が漏れる場合があります。

●不安定な場所や傾斜した場所・障害物のそばに置かない

転倒・落下による破損・故障の原因になります。
機能低下の原因になります。

●水温や室温が極端に低いと加湿量が若干低下します

●液剤は、弊社指定の液剤をご使用ください

ご不明な点は弊社までご連絡ください。

●固形剤は、弊社指定のものをご使用ください

ご不明な点は弊社までご連絡ください。

●本体上面に物を置いたり、吸込口や吹き出し口をふさがない

故障の原因になります。

●フィルターを外したまま運転しない

効果がありません。また故障の原因になります。

●電源コードの差し込みプラグに付いているアース端子を必ずアースに取り付けてから ご使用ください。

●理器具の近くでは使わない

●動植物に直接風を当てない

悪影響をあたえる可能性があります。

●本体から吹き出した風が、家具や他の電化製品、壁、天井などに直接あたる場所には設置しない。

湿気により、家具などにしみ変形が生じたり、故障の原因になります。

●畳や傷の付きやすい床・毛足のながい絨毯などでは引きずらない

傷つける原因になります。

●密閉した部屋では、時々換気する

空気中の二酸化塩素の濃度が高くなり
息苦しく感じることがあります。

●給水ランプ点灯時、タンク内には約400ｃｃの残液があります。給水ポンプの保護や水位 センサー誤動作防止のための液量です。
仕様書に書かれたタンク容量分の液剤を補充すると、給水口から液剤が溢れますのでご注意ください。

湿気により、家具などにしみ変形が生じたり、故障の原因になります。

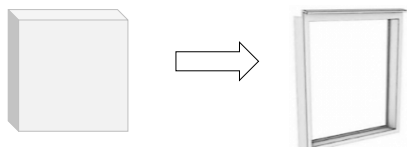
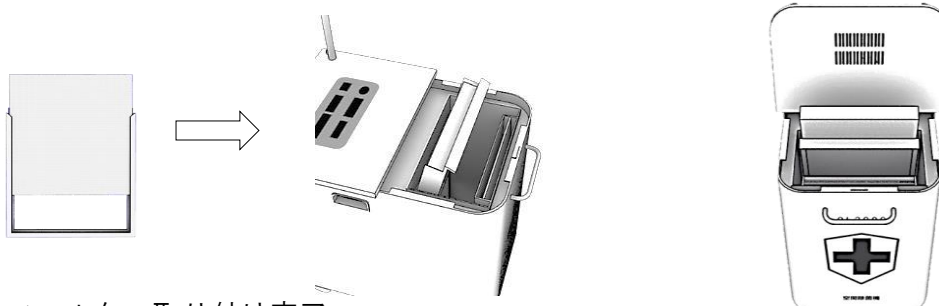
◆◆お手入れのとき・ご使用場所について◆◆

- お手入れの際、本体および取り外した部品の下にやわらかい布を敷く
  床を傷つけることがあります
- 本体から水を抜くときは、底面部で手を傷つける恐れあります
- 絨毯や布などの上での使用はお控えください
  色落ちする場合があります

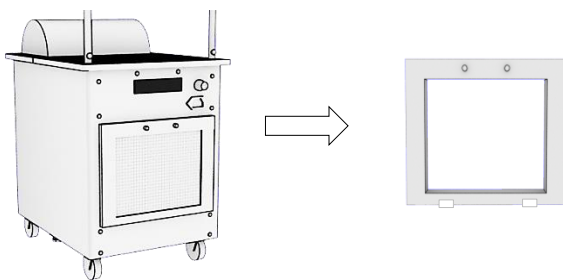
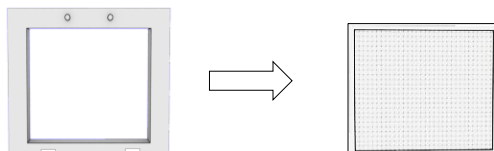
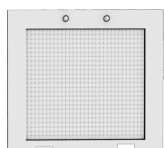
● 運転前の準備

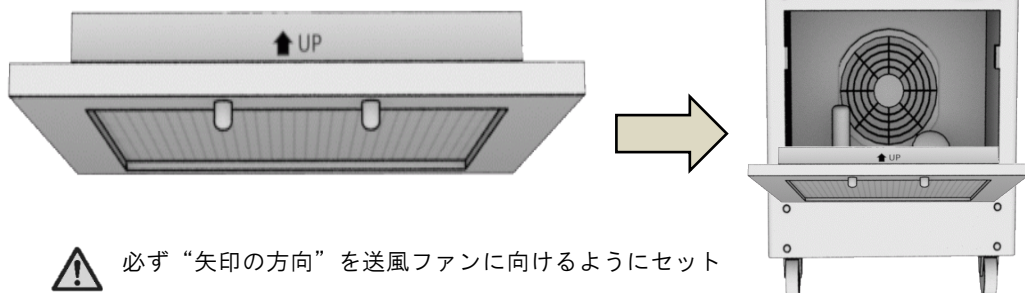
◆フィルターを本体にセットする　１　◆

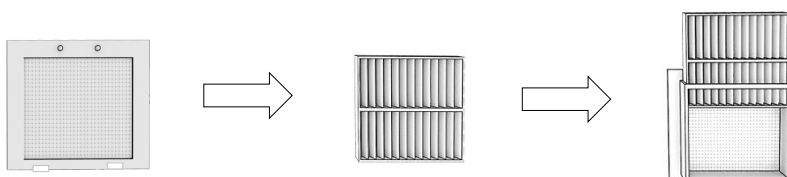
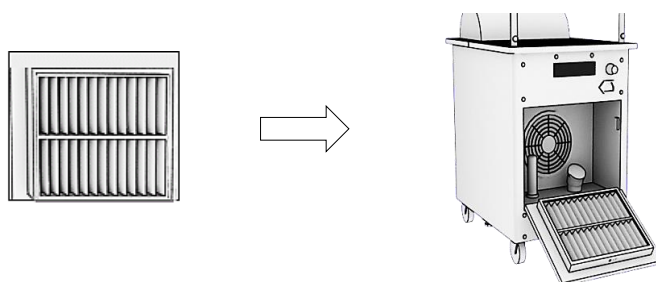
●　加湿フィルターのセット

①“加湿フィルター”を“加湿フィルターケース”に取り付ける

②フィルターケースごと機械に挿入する　（機械の壁に押し当ててください）

③フィルター取り付け完了

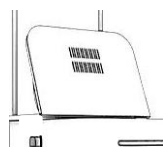
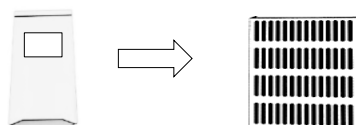
●　プレフィルターのセット

①機械本体から“吸気フィルターケース”を外す

②“吸気フィルターケース”の上から“プレフィルター”を差し込む

③“プレフィルター”取り付け完了

◆フィルターを本体にセットする 2 ◆

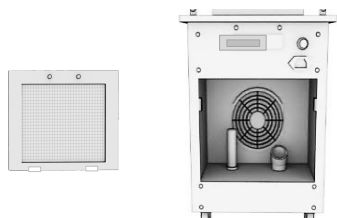
① “吸気エアーフィルター”セットの向き

⚠ 必ず“矢印の方向”を送風ファンに向けるようにセットしてください。誤ってセットすると、空気の取り込みが悪くなります。

② 上から“吸気エアーフィルター”を差し込む
（“プレフィルター”をセットした後）

③ “吸気エアーフィルター”取り付け完了

注意

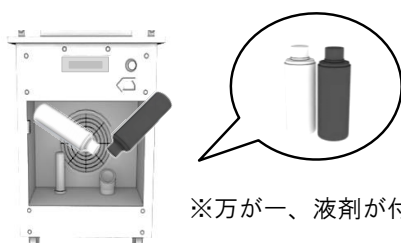
- 床面の傷つき防止のため、本体の下にやわらかい布などを敷いて床面を保護してください
- フィルターを付けないまま稼働させると効果は得られません。また、故障の原因となります
- 本体を倒したり、傾けたりしないでください

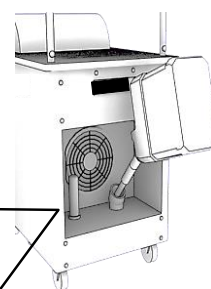
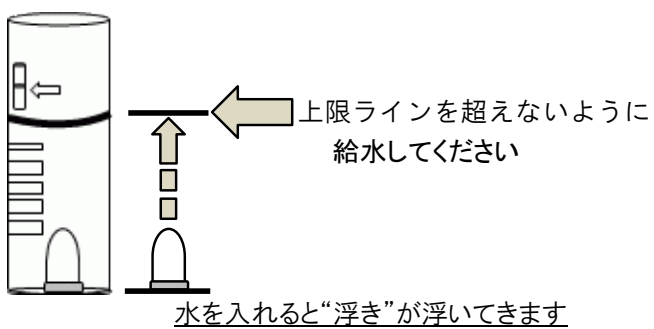
◆充填剤を本体にセットする ◆

二酸化塩素固形剤は有効成分を放出し本機械内部フィルターも除菌・消臭し続けます。
3ヶ月間有効期間がございますので、使用開始日をご記入されることをおすすめ致します。

●液剤＋水 をセットする

①本体側面“吸気フィルターケース”を取り外す

②“給水口”から“給水キャップ”を外す

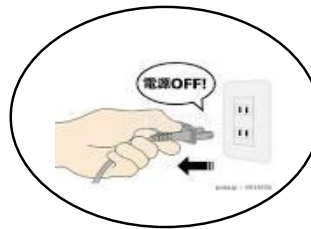
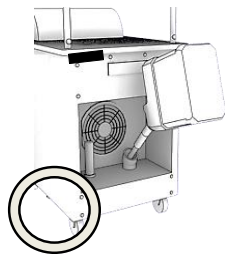
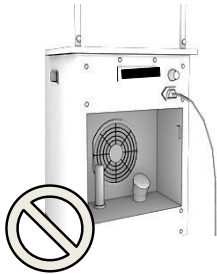
③“グレーボトル” “ホワイトボトル” 各1本 入れる

※万が一、液剤が付着した場合は直ちに水で洗い流してください

④“専用ポリタンク” に水を入れ“付属ノズル”を取り付ける

⑤“専用ポリタンク”で7リットル注水して下さい

液剤の水位が“給水レベルゲージ”の上限ラインを
超えないように慎重に注水してください

◆給水ランプ点灯時、タンク内には約400ccの残液があります。給水ポンプの保護や水位センサーの誤作動防止の為の液量です。仕様書に書かれたタンク容量分の液剤を補充すると、給水口から液剤が溢れますのでご注意ください。

- 本体から水を抜くときは、底面部で床面を傷つける恐れがあります
- タンクキャップを開けたまま稼働させないでください
- 底面の液抜きドレンは、しっかりとかたく締めたことを確認して使用してください

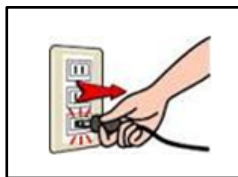
- この製品は、水タンクに水が入っていると加湿機能が働きます
  加湿を必要としない場合は、水タンクに水を入れないでください

● 設置のしかた

【1】水平で安定した強度のある場所に設置してください。
【2】冷房暖房機などの近くは避けて、空気の循環のよい場所を選びます。
【3】左右の壁から90cm以上離してお使いください。

注意

- 不安定な床や台の上などには置かないでください
  転倒・落下により破損や故障、水漏れの原因になります
- 本体を傾けて使用すると水漏れの原因になります

● 運転する

① 電源プラグをコンセントに確実に差し込む

⚠ 火災の恐れがあります

② 運転 入 / 切

1 ボタンを押す

2 運転が始まり、表示が点灯します。

3 運転中に 入/切 ボタンを押すと運転が停止します

◆加湿フィルター上のポンプより、水滴が落ちて加湿が
開始され送風ランプが標準で点灯します

待機中の消費電力について

- 運転を停止していても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約3Wの電力を消費します。（長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。）

● 運転モードで運転する（基本的な使いかた）

【1】4つの運転モードを選ぶことができます。おこのみにより使い分けてください。
【2】すべての運転モードにおいて、運転ファンは止まりません。

タイマー運転　（タイマー）

- 0.5/0.5　…　30分稼働して30分停止します
- 1/ 3　…　60分（1時間）稼働して180分（3時間）停止します
- 3/ 5　…　180分（3時間）稼働して300分（5時間）停止します
- 連続　…　稼働可能時間540分（9時間）

電源OFF後、フィルターを乾燥させるために3分間送風し、自動停止します

加湿　（加湿）

- 自動　…　通常は自動運転をおすすめします（自動運転時は、湿度55%～65%で適湿度運転されます）
- Wet　…　湿度に関係なく加湿されます（高湿度になる場合があります）
- Dry　…　内臓ファンにより空気を循環しつつ空間浄化（固形剤取付時のみ）を行い、加湿は行いません

給水　（給水）

- 給水ランプが点滅し、アラームが鳴る場合（15秒間）は、水+液剤を補充してください

※ 必ず“給水ランプ”が点灯してから給水してください

アラーム音を停止する場合は、操作パネルの加湿スイッチを押してください
アラーム音を鳴らないようにするには、

ボタンを長押し（3秒間）してください

※ 操作パネル上のLEDが3回点滅します
この設定は電源コードを抜くまで保持されます

● お手入れのしかた

お手入れの際には、必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

- 本体各部に水をかけないでください。故障の原因になります
- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、洗剤（キッチン用・洗濯用）などは使わないでください 変形、変色、破損、印刷文字のはがれの原因になります
- 本体を倒したり、傾けたりしないでください

注意

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください
- ドライヤー、暖房器具などで乾燥させないでください。変形、変色、破損 印刷文字のはがれの原因になります
- 床面の傷つき防止のため本体の下にやわらかい布など敷いて、床面を保護してください

◆水タンク部分

- 水タンクの中に水（水溶液）が入っている状態での保管はお止めください
- キャップにゴミなどが付着した場合は、乾いた布などでふき取ってください

警告

- 洗剤（キッチン用・洗濯用などは）使用したり、タンク内に入れたりしないでください

注意

- タンクキャップは必ず装着させて稼働・保管してください
- タンク内の水が、体や衣服に付着した場合は、ぬるま湯か水でよく洗い流してください
- タンクから水を抜き終わった際、ドレンをかたく締めたことを確認してください

◆加湿フィルターお手入れ　（お手入れ目安：約1ヵ月に１回以上）

- 本製品の加湿方式は加湿フィルターにかぜを当てて、湿った空気を出す気化式を採用しております。
- 加湿フィルターはお使いの使用環境により、加湿をしなくても汚れやにおいが付着する場合があります。早めにお手入れしてください。
- 水タンクに入れる水は必ず水道水をご使用ください。
- 加湿運転（自動・Wet）をご使用しない際には「タンク」に残った水を捨ててください。

❶ **水、ぬるま湯に15分～25分浸し、つけおき洗いをする**

❷ **新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながら、すすぎ洗いをする**
（2～3回繰り返す）

❸ **軽く振って水を切る　（水がしたたり落ちない程度）**

❹ **風通りのよい、日陰にしばらく干す**

※ ケースからはずさないでください

- 使用を続けると加湿フィルター表面に白い固まりが付着します。水溶液が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります
- 使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります
- 加湿フィルターはケースを外さないで、ケースごとすすぎ洗いしてください（外すと変形や破損の原因になります）
- 加湿フィルターは、強くブラシなどでこすったり、強く押して変形させないでください（損傷し、性能低下の原因になります）
- 新品の加湿フィルターは、使いはじめにニオイがすることがありますが異常ではありません
- 傷んだ場合は、早めに交換してください

- 加湿フィルターが水を多く含んだ状態で本体に組み込まないでください 水漏れの原因になります

◆吸気エアフィルター　（お手入れ目安：１ヵ月に１回以上）

- 吸気エアフィルターケースから外してください。
- ほこりなど障害物が付着すると、空気の吸い込みが悪くなり効果が期待できなくなります。

❶ 両面の付着しているものを掃除機など取り除く。

❷ 吸気エアフィルターにセットしてください。

水に濡らさないようにご注意ください。

◆プレフィルター　（お手入れ目安：１ヵ月に１回以上）

- 網目にほこりなど障害物が付着すると、空気の吸い込みが悪くなり効果が期待できなくなります。

❶ 水で押し流してください

❷ 軽くタオルなどで水気をふき取ってください

❸ 本体にセットしてくだい

～　フィルター交換について　～

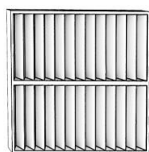
- 加湿フィルター・吸気エアフィルターは消耗品です。12ヶ月（約1カ月に1回以上お手入れが必要です）のご使用を目安に交換してください
お手入れしても、次のようになった場合は早めの交換をお勧めします
- 汚れがひどい、二酸化塩素などが固くこびりついて取れない、においがひどい
傷んだり型くずれがひどいなど

※ フィルターケースは捨てないでください

● 故障かな？とおもったら

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください

現象	確認する所	直しかた
電源がはいらない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ● ブレーカーが切れていませんか？ ● ヒューズは切れていませんか？	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。 ● ブレーカーを入れます。 ● ヒューズを取り替えてください。
風が出ない	● プレフィルターの汚れが多くなっていませんか？	● 【お手入れのしかた】をご覧になり清掃してください。
においがする	● **加湿フィルターが汚れていませんか？**	● 【お手入れのしかた】をご覧になり清掃してください。
風量が上がらない	● 風量を切り替えていませんか？ ● フィルター部にほこりや障害物でふさがっていませんか？	● 送風ボタンを押して、選んでください。 ● お手入れしてください。
「加湿」で運転しても加湿していない	● フィルターなどに汚れが多くなっていませんか？ ● “Dry”運転になっていませんか？	● お手入れしてください。 ● 加湿ボタンを押して、選んでください。
水が漏れる	● 加湿フィルターを確実にセットしていますか？ ● “水抜きドレン”は確実に締まっていますか？ ● 本体を傾けたり、水が入った状態で移動させていませんか? ● 機械本体から水漏れしていませんか ● タンクから水漏れしていませんか？	● 確実にセットしてください。 ● 確実に締めてください。 ● 本体を水平なところに置く。また、水が入ったまま持ち上げたりしないでください。 ● ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。 ● ただちに使用を中止して、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
その他	● 電源プラグをコンセントに入れたとき パチッと音がする	● 通電と同時に電気部品に電流が流れるためです。異常ではありません。

● 別売り部分

●仕様

適用床面積	15畳（50㎡）～
運転モード	自動運転　／ Wet運転　/Dry運転
風量	強　　6.0㎥/分
	標準　3.2㎥/分
	静音　2.5㎥/分
消費電力	強　　…15w　（加湿）運転時
	標準　…10w　（加湿）運転時
運転音	強　　47(dB)
	標準　25(dB)
	静音　19(dB)
加湿	自動　55%～65%　自動制御
	Wet　湿度に関係なく加湿し続ける
	Dry　加湿無
材質	オールステンレス構造
外形寸法	幅290mm×奥行390mm×高さ785mm(取っ手装着時)

【製造元】

〒254-0052
神奈川県平塚市平塚1-22-13
TEL　0463-37-3541　http://www.envroy.jp
FAX　0463-37-3540　0120-979-714

○○病院
介護施設
CL3000
空間除菌機
エンプロイ株式会社